

医療用品 4 整形用品
一般医療機器 ギプス包帯 33056000

キャストライト・α

再使用禁止

【警告】

使用方法

- 1) 本品を水に浸した後、水を絞すぎないこと。
[絞すぎると、硬化が急激に促進され、本品の発熱温度が高くなり、低温火傷のおそれがあるため。]
- 2) 本品を必要以上に巻きすぎないこと。
[必要以上に巻きすぎると、本品の温度が高くなり、低温火傷のおそれがあるため。]
- 3) 完全に硬化するまで、無理な力や体重をかけたりしないこと。
[本品が変形、破損し、怪我を引き起こすおそれがあるため。]
- 4) 本品カット時には、必ずマスク等を着用し、換気に留意すること。
[カット時に生じるガラス繊維粉は吸入すると体内に蓄積し、呼吸器疾患を起こす可能性がある。又、カット時に生じるガスを多量に体内に吸入すると、循環器障害を起こす可能性があるため。]

【禁忌・禁止】

使用方法

- 1) 再使用禁止
- 2) 水は、水温25℃以上を使用しないこと。
[本品の硬化には発熱が伴うので、水温が高いと本品の温度が高くなり、低温火傷のおそれがあるため。]
- 3) 本品を巻いた直後から30分間は、巻いた部分を布等で覆ったりクッション等の上にのせず、開放状態を保つこと。
[本品の硬化には発熱が伴うので、放熱を妨げると、低温火傷のおそれがあるため。]
- 4) 硬化前の本品を素手で触らないこと。又、硬化前の本品に直接肌が触れないようにすること。
[樹脂の付着並びに皮膚かぶれの可能性があるため。万一、樹脂が付着した場合は、樹脂が硬化(接着性が消失)する前にアルコール等の有機溶剤で拭き取ってください。]

【形状・構造及び原理等】

1. 種類・規格

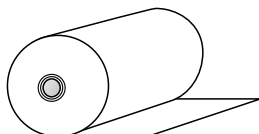
種類	規格
ロール	2号 5.0 cm × 3.6 m
	3号 7.5 cm × 3.6 m
	4号 10.0 cm × 3.6 m
	5号 12.5 cm × 3.6 m
シーネ	3号 7.5 cm × 50.0 cm (4層重ね)
	4号 10.0 cm × 50.0 cm (4層重ね)

2. 構造

1) ロール

本品は、水硬化性ポリウレタン樹脂をガラス繊維の編物に塗布した、ロール形状のキャストテープである。

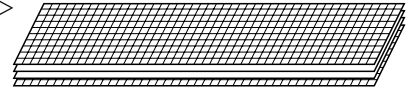
<模式図>



2) シーネ

本品は、水硬化性ポリウレタン樹脂を塗布したガラス繊維の編物を積層し、その表面をプラスチックメッシュフィルムで覆った、シート形状のキャストテープである。

<模式図>



3. 原理

本品は、ガラス繊維の編物に塗布した水硬化性ポリウレタン樹脂が水と反応、硬化することにより、患部を固定できる剛性と強度を発現する。

*【使用目的又は効果】

骨折、疾患のある関節又は疼痛のある捻挫を固定するために、固い被覆保護材（ギプス包帯）を構成する用具である。

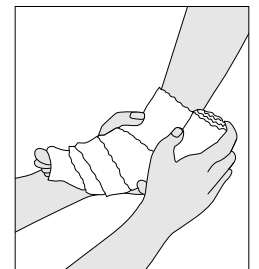
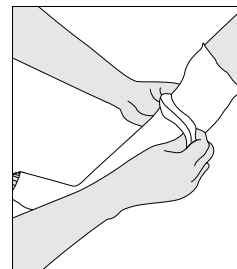
【使用方法等】

1. 使用方法に関連する使用上の注意

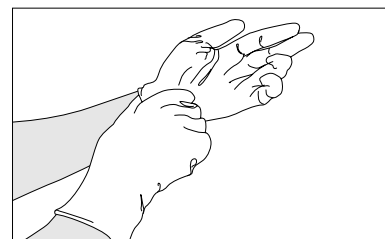
- 1) 本品は、ディスプレイ製品なので、装着中に本品の破損及び著しい汚損が認められる場合には、新しい本品と交換してください。
- 2) 腫脹がなくなり、患肢が細くなった時など本品が緩んだ場合には、新しい本品で処置し直してください。
- 3) 硬化後の本品の縁は、鋭くなっており、肌を傷つけることがあります。直接肌に当たらないように、本品の縁を下巻材や絆創膏で覆い、保護してください。特に、薄くなっている部分は十分保護してください。

2. ロールタイプの使用方法

- 1) 適応サイズの選定
患部に応じて適切なサイズの本品を選定します。
- 2) 準備
① 本品を適用する患部には、必ず下巻材を装着します。通常、本品装着後の縁の処理のため2重にしたチューブ包帯を長めにかぶせ、その上から下巻用包帯を巻きます。屈曲部や関節部には、緩衝材として十分に下巻材を巻いて患部を保護します。

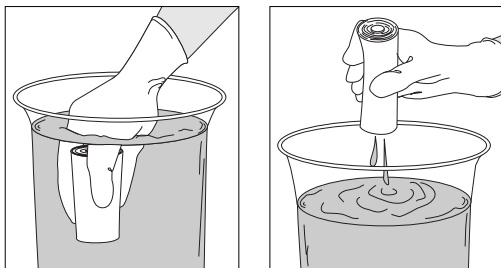


- ② 本品の樹脂が付着するのを防ぐために、術者・介助者はグローブ、エプロンを着用します。



3) キャスティング

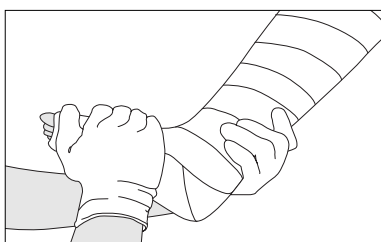
- ① 使用直前に本品を1巻ずつ包装から取り出し、水に5～10秒間浸します。
本品を水中から取り出し、軽く絞ります。水を絞りすぎないようにしてください。



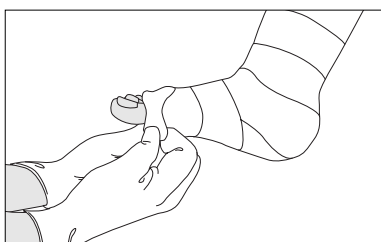
- ② ロールを転がすようにして巻きます。強く引っ張りすぎないでください。
(使用巻数は通常、前腕-手部で約3～4層、下腿-足部の体荷重を要する足関節部は約6～7層を目安にしてください。)



- ③ モールディングを行います。モールディングは、押しつけるようにすると層間の接着がさらに高まります。

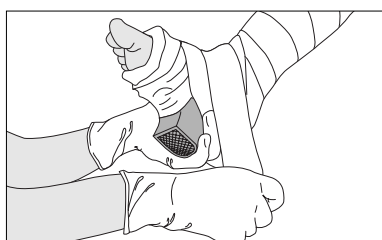


- ④ 本品の縁を処理します。巻きあがった本品の縁が、直接肌に当たらないように、長めになっている下巻材を、本品の外側に折り返します。



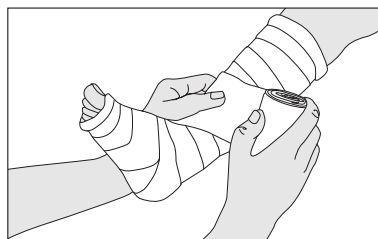
4) ヒールの取り付け

ヒールを取り付ける場合は、本品の発熱が終了してから取り付けてください。又、ロールは1巻全てを使用せず、余った分はカットして捨て、巻きすぎないようにしてください。



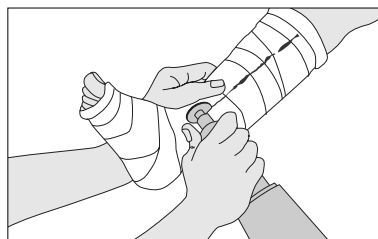
5) キャスト表面の保護

本品の表面がざらついているときは、本品が十分に冷えていることを確認し、包帯等を巻いて保護します。



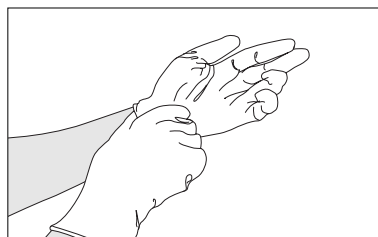
6) キャストの除去

本品を除去するときは、カッターの刃が1ヶ所にとどまることのないように、スムーズに移動させカットしてください。
刃が1ヶ所にとどまると、刃と本品の摩擦により、刃が高温になり、火傷の原因となります。
又、カット時には、必ずマスク等を着用し、換気に留意してください。



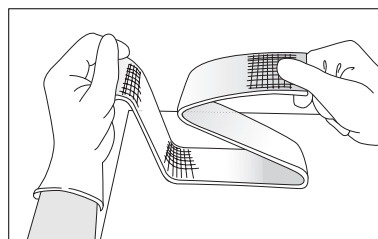
3. シーネタイプの使用法（補強に使用する場合）

- 1) 適応サイズの選定
患部に応じて適切なサイズの本品を選定します。
- 2) 準備
本品の樹脂が付着するのを防ぐために、術者・介助者はグローブ、エプロンを着用します。

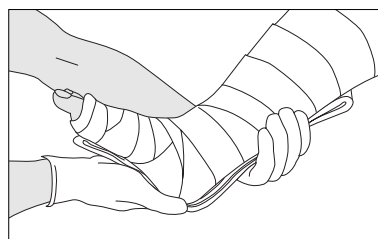


3) キャスティング

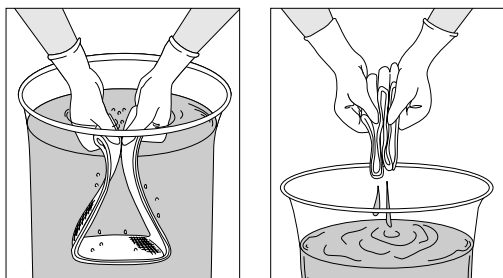
- ① 使用直前に本品を1パックずつ包装から取り出し、4ツ折りにになっている本品を、表面のプラスチックフィルムと一緒に広げます。



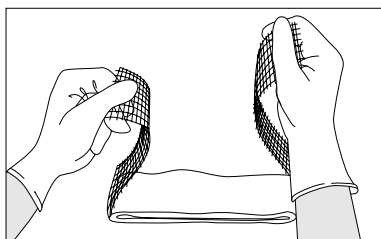
- ② 固定する患部に合わせて、本品の長さや形状を調整します。



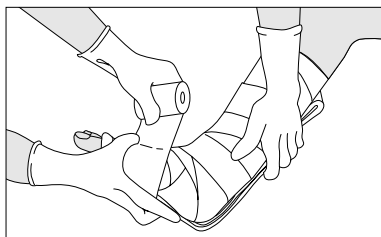
- ③ 調整した本品を、プラスチックメッシュフィルムを付けたまま、水に1～2秒浸します。本品を水中から取り出し、軽く絞ります。水を絞りすぎないようにしてください。



- ④ プラスチックメッシュフィルムを剥がします。



- ⑤ 補強する部分へ本品を当て、その上からロールタイプの本品で巻き込みます。



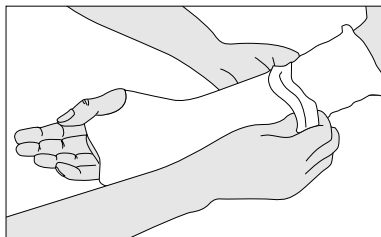
4. シーネタイプの使用方法（副木に使用する場合）

1) 適応サイズの選定

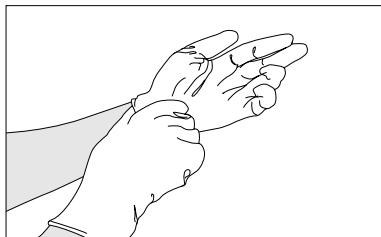
患部に応じて適切なサイズの本品を選定します。

2) 準備

- ① 本品を適用する患部には、必ず下巻材を装着します。通常、本品装着後の縁の処理のため、2重にしたチューブ包帯を長めにかぶせます。

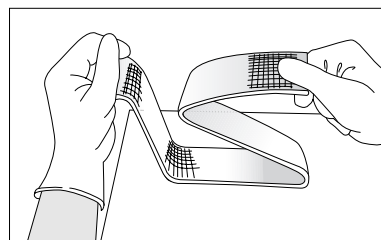


- ② 本品の樹脂が付着するのを防ぐために、術者・介助者はグローブ、エプロンを着用します。

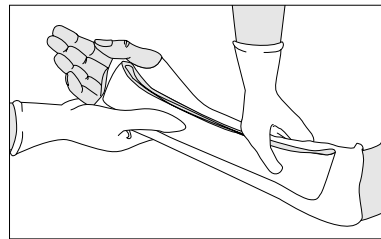


3) キャスティング

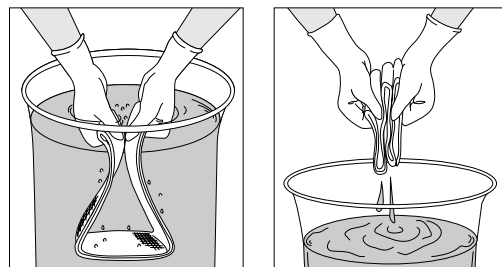
- ① 使用直前に本品を1パックずつ包装から取り出し、4ツ折りにになっている本品を、表面のプラスチックフィルムと一緒に広げます。



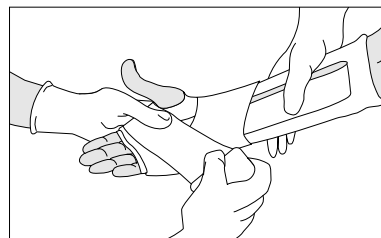
- ② 固定する患部に合わせて、本品の長さや形状を調整します。



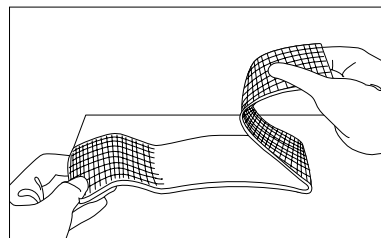
- ③ 調整した本品を、プラスチックメッシュフィルムを付けたまま、水に1～2秒浸します。本品を水中から取り出し、軽く絞ります。水を絞りすぎないようにしてください。



- ④ プラスチックメッシュフィルムを付けたまま、本品を患部に当て、その上から伸縮性包帯等を巻き、モールドリングします。プラスチックメッシュフィルムを剥がすと、本品が下巻材や包帯と接着し、剥がれなくなりますのでご注意ください。



- ⑤ 本品が十分硬化した後、包帯を外し、本品のプラスチックメッシュフィルムを剥がし、患部に装着した後、弾力包帯等適切な方法で固定してください。



【使用上の注意】

1. 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

患部に腫脹、感染創、潰瘍、発疹等がある患者。必要に応じて開窓する等の適切な処置をして、ご使用ください。

[皮膚障害や血流障害が起こる可能性があります。]

2. 重要な基本的注意

- 1) 本品装着中、及び装着直後は、発熱を伴うので、患者が熱さを訴えた時は直ちに本品を外してください。
- 2) 本品使用中に、痛み、しびれ等の症状がありましたら、直ちに医師に連絡するよう患者に指導ください。
- 3) 本品使用中に皮膚障害と思われる症状が認められた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置をしてください。
- 4) 本品は水硬化性ポリウレタン樹脂を使用しているので、包装が破損している場合や本品内容物の一部が硬い（硬化している）場合は使用しないでください。
- 5) 包装を開封したら直ちに使用してください。

3. 不具合・有害事象

- 1) 本品を長期間装着する場合、発汗等により、皮膚障害の発生する可能性があります。定期的な観察をすると共に、異常を感じた時は、直ちに医師に連絡するよう患者に指導ください。
- 2) 本品の過度な締めつけにより、循環障害や神経麻痺の発生する可能性があります。症状が認められた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置をしてください。

4. その他の注意

- 1) ヒールを取り付ける場合は、本品の発熱が終了してから取り付けてください。
[ヒール取り付けのために、本品をさらに巻くことになるので、発生した熱が患部に蓄積され、低温火傷のおそれがあるため。]
- 2) 装着中の本品に直接水がかからないようご注意ください。
[皮膚の表面が長時間ぬれた状態になると、皮膚かぶれ等を起こす可能性があります。]
- 3) 本品カット時には、患部以外の皮膚を布等で被覆してください。
[カット時に生じるガラス繊維粉が皮膚に付着すると、痛み、かゆみ等の症状が起こる原因となります。]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- 1) 水ぬれを避けてください。直射日光及び高温多湿を避けて、常温保管してください。
- 2) 箱に記載の通り、横置きで保管してください。（縦置きにしないでください）

2. 有効期間

パッケージに表示。（自己認証データによる）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者

アルケア株式会社

2. 連絡先

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階
お客様相談室： ☎ 0120-770-175